

様々な問題に広い視野から
対応できる総合的診療をめざす

総合内科

近年の医学の進歩に伴い、患者さんの診療は胃腸の病気は消化器の専門医、心臓病は循環器専門医というように病気の生じている臓器毎に各専門分野の医師に診療を受けるシステムを中心として高度に細分化して発展を遂げてきました。しかしながら、高齢化社会を迎えるにあたり、1人の患者さんが同時に様々な問題を抱えることが多くなり、従来の各専門医別の診療では対応しにくいことが多くなってきました。また、医療テクノロジーに偏重し、病気を見て病人を診ない専門診療の行き過ぎた細分化に対して、患者さんからの不満、あるいは医療側からの反省の声が叫ばれるようになってきました。

こうした背景のもと、臓器や疾患を選ばず、患者さんの健康上の問題に広い視野から対処することが必要となり、各地の病院で“総合内科”“総合診療科”などが開設されてきています。当院でもこうした目的のもと、平成16年4月より“総合内科”を開設致しました。

本プログラムでは、初期研修で培った臨床医としての基礎的能力の上に、内科医として十全な知識と経験を多数のベテラン専門医指導医の下で積み、医師として生涯の基礎となる見識と能力を育成することを目標とします。



副院長・総合内科部長

森尾 比呂志

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・内分泌代謝科指導医
厚生労働省医政局長認定臨床研修指導医

01 研修期間

3年間（希望により1年単位の延長可能）

02 目的

内科学会内科専門医取得に十分な臨床知識および経験を積み、内科医としての見識と自己研鑽能力の基礎を作る。また、総合内科専門医、内分泌代謝科専門医、リウマチ専門医、アレルギー学会専門医となる過程となるべき臨床経験を積む。

03 到達目標

目的・到達目標・プログラム内容

- (1) 現行における総合内科専門医が取得できる力を習得する。
- (2) 新専門医制度の内科専門医を取得するのに十分な臨床知識および経験を積み、内科医としての見識と自己研鑽能力の基礎を作る。
- (3) 専門医の資格取得を目指す。総合内科専門医、内分泌代謝科専門医、リウマチ専門医、アレルギー学会専門医となる過程となるべき臨床経験を積む。
- (4) 研修終了後、専門医としての見識を深めるため、さらに専修医として研修を継続、あるいは当院の内科スタッフを目指すことも可能です。この場合、希望により内科以外の科をローテーションすることも可能です。たとえば自分の将来の専門科目を見据えて、膠原病内科と関連する皮膚科や整形外科などの他科をローテーションすることも可能です。

04 取得可能資格

学会名	取得可能資格	学会の研修施設等指定・認定状況
日本内科学会	内科専門医	日本内科学会教育施設
日本内科学会	総合内科専門医 (取得のための準備)	日本内科学会教育施設
日本内分泌学会	内分泌代謝科専門医 (取得のための準備)	日本内分泌学会内分泌代謝科 専門医制度教育施設
日本リウマチ学会	リウマチ学会専門医 (取得のための準備)	日本リウマチ学会専門医研修施設
日本アレルギー学会	アレルギー学会専門医 (取得のための準備)	アレルギー学会教育施設